

## かける ゆか 翔と由佳の場合

### part 1 楽しいリッチな恋人時代

翔と由佳は恋人どうし。二人とも社会人1年生。半年後の結婚も決めた。幸せいっばいのカップル。毎週日曜日には翔のスポーツカーでドライブ。夜はカラオケに行ったり、シックにフランス料理で決めたり、いつも翔のおごりだった。代官山でブランドものの靴を買ってくれたこともある。



先日、はじめて由佳は翔のマンションへ行った。そのとき由佳はびっくりした。

部屋に入ると、モノがいっぱいあった。ワンルームにオーディオコンポとDVDプレーヤーに大画面テレビ、クロゼットが二つ、デスクトップのパソコンや豪華なソファまで。それでいて、意外と部屋がたづんでいること。

由佳は、デートのときのバリッときめた翔の姿と、けっこうリッチに見えるマンション住まいが、彼の給料のわりに無理をしているのではと、少し不安がよぎったが、嫌いになったわけではなかった。やがて二人は結婚。由佳は結婚退職も考えてみたが、やはりOL生活を続けてがんばることにした。

### part 2 「リッチ」の裏側、しのびよる影

楽しさいっぱいの新婚生活もつかの間、しのびよる暗い影。毎日のように届くクレジットの督促状。自宅にかかってくる消費者金融会社からの返済催促の電話。



考えてみれば、手取り15万円そこそこの翔がフランス料理をごちそうしてくれたり、贈りものを買ってくれたりリッチすぎた。由佳は今になってやっとそれに気づいた。それなのに、翔は今でもまだカードでスーツを新調し、車を買いかえ、マンションももう少し広いところへ引っ越そうともいっている。

やがて二人の危機。翔の借金はこのときクレジット会社10件、消費者金融会社8件、合計600万円。由佳は友人にすすめられて、しぶる翔を連れてとにかく弁護士会の無料相談へ行った。

### part 3

## 生活のたて直しに向けて

翔と由佳は、弁護士と相談の結果、クレジット会社と消費者金融会社の借金を、次のようにして解決することにした。

①まず、分割払いを続けている車やパソコンなど12点のうち、本当に欲しいものだけを選んで、他は売って処分する。車は欲しかったが、保険料や税金などの維持費のほかガソリン代や高速料金など知らないうちにお金がかかるので我慢することにした。手元に残ったのはオーディオコンポだけ。それでも、まだ残りの借金をしばらくは支払わなければならなかった。

②消費者金融会社からの借金の整理は弁護士に依頼した。翔は、最近まで消費者金融会社から請求される利息を払っていた。しかし、由佳に気づかれないようにと領収書を破り棄てていたので、整理にはかなり手間がかかった。それでも毎月5万円ずつ、ボーナス時8万円で3年間の長期に分割して払えば完了するように話がついた。

③これから3年間の支払いを続けていくために、二人で協力していこうと相談し、毎月の生活費がどのくらいかかるのかをつかむため、家計簿をつけることにした。



### part 4

## 苦しい生活の中から得たものは……

それから1年。とにかく二人はがんばった。二人は新しい生活になれていった。

物がなければならぬに、いや、ないためにかえてよいこともあることがわかってきた。二人は、今度はクレジットではなく、毎月の収入から少しずつためて、いつか温泉の旅にでも出かけたいと思っている。目標をつくって貯金する。二人が出会ったころには考えられなかったこと。でも何だか仕事にもやる気がわいてきた。これでやっと一



人前の夫婦になれたような気がしてきた。由佳はこれからもずっと仕事を続けていこうと決心した。

ときどき郵便受けに入ってくる「消費者ローン」や「クレジット」のダイレクトメールやチラシは、翔も由佳もすぐに捨てることになっている。

## part 5 本ものの“豊かさ”を

10 テレビやインターネットを見ていると、便利なもの、カッコいいものがいろいろ宣伝されています。今財布にお金がなくても、カードさえあれば、ブランド物でも何でも、サインひとつで手に入れることができる“カード社会”，とても便利な時代です。でも、クレジットカードはお金の代わりではありませんから、結局あとで支払うことになるだけの話です。

15 ひとつだけなら大したことはなくても，“便利さ”についつい利用癖りようへきがついて、しだいに毎月の支払いも当然増えていきます。あなたの将来の給料が、カードの支払いのために、あなたの自由にはなりません。「アルバイトをすれば」，「次のボーナスで」など将来の収入をあてこんでも、そのとおりにいかないことはよくあることです。私たちはロボットではありません。生身の身体をもった人間です。ケガもすれば病気もします。私た

20 ちの日常生活では常に“予測”に反したことが起きることを忘れてはなりません。「自分だけは……」と過信することは最も危険です。

大切なことは、毎月の収入の範囲で生活していくことです。だから、欲しいと思っても今本当に必要なものかどうか、よく考えてみましょう。今月は苦しいからといってお金を借りてしまえば、来月はもっと苦しくなります。来月も借りれば、その翌月

25 ともっと苦しくなります。

そして最後に、みなさんによく考えてほしいこと、それは「豊かなくらしてどういうことなんだろうか」ということです。翔と由佳の生活を参考にして話し合ってみてください。